

県産材住宅の設計が容易になる「富山県産スギ材のスパン表」

1 【目的】

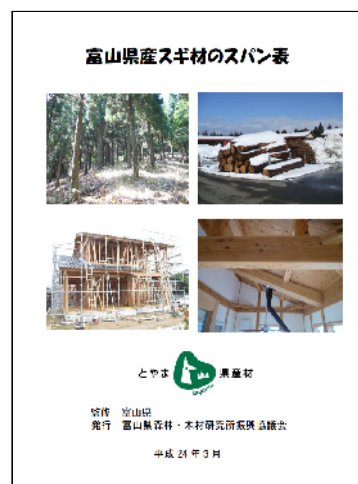
木材研究所では、これまで、県産スギ材の実大曲げ強度試験等を実施し、県産スギ材が建築法規（平成 12 年 5 月 31 日 建設省告示第 1452 号）で規定された基準強度を満たしており、安心して使えることを公表してきました（「富山県産スギ材活用ハンドブック」※平成 23 年 3 月発行 富山県森林・木材研究所振興協議会）。

今回、これらの強度データを基に、県産スギ材を、より安心して設計者や施工業者に利用してもらうことを目的に、利用される各条件（積雪量や屋根の種類等）において、住宅の梁材等で必要となる県産スギ材の適正な寸法を構造計算によって予め算出した早見表「富山県産スギ材のスパン表」を作成しました。

2 【期待される効果】

このスパン表を利用することにより

- ・安全・安心な県産材住宅の推進が期待できます。
- ・従来、外材が用いられることが多かった梁・桁材において、本スパン表により県産スギで必要となる断面の大きさが一目で分かることから、設計が容易となり、県産材の利用拡大が一層期待できます。



「富山県産スギ材のスパン表」

3 【スパン表の主な特徴】

- ・積雪荷重は多雪区域の積雪量 1.5 m、2.0 m に対応しています。
- ・北陸の気候風土に合わせて、軒の出 450、600、750mm に対応しています。
- ・2 階以下で延べ面積 500 m² 以下に対応しています。
- ・製材 JAS の構造用材標準寸法から一般的な断面寸法を採用しています。
- ・対象材種は、県産スギ製材品の無等級材から、製材 JAS の目視等級区分材（1 級から 3 級）および機械等級区分材（E50 から E110）までを網羅しています。

【今後の対応方針】

- ・とやま県産材アドバイザー等に配布し県産材の利用促進を図ります。
- ・木材研究所ホームページに掲載するなど、設計関係者、大工・工務店等住宅関係者など関係者に広く周知・普及を図り、県産材利用の促進を図ります。

(<http://www.pref.toyama.jp/branches/1661/mokuzai/index.html>)

なお、希望者に対しては、有料で頒布（千円／冊、送料別）します。

申込先：富山県木材組合連合会 電話 0766-30-5101

※「富山県産スギ材活用ハンドブック」も同様に頒布しています。



〔 担当：木材研究所木質構造係 柴、林
電話：（直通）0766-56-2915 〕